

新「Eシステム」で追加された機能、廃止された機能、更新された機能

1. 共通

機能概要	旧システム	新システム
パスワード失念時のリセット方法	運用担当に電子メールにてパスワードのリセットを依頼。	パスワードリセット機能によりご自身でリセットが可能。

2. 日本歯科医師会会員

機能概要	旧システム	新システム
会員本人による研修会の単位登録	可能。	廃止。 研修会の単位登録は主催者のみが可能。 ※あわせて能動的研修の単位登録も廃止
教材研修の単位登録	「受講研修会の検索」画面で「単位登録」ボタンをクリックすれば単位登録が可能。	プレテスト、ポストテストに合格することでのみ単位登録が可能。
履修状況の確認	現在の実施期間と過去の実施期間とで履修状況確認画面を使い分ける必要あり。	画面を統合し、ひとつの画面で現在と過去の実施期間の履修状況を確認可能。

3. 都道府県歯科医師会

機能概要	旧システム	新システム
認定主催者の審査	都道府県規模の認定研修会の審査を書面等で行い、認定した認定研修会をEシステムで登録。	規模によらず、認定主催者の審査は日本歯科医師会の審査員がEシステムで行う。
研修会の履修データ登録	運用担当に履修データの登録を依頼。	研修会主催者自ら履修データを登録。

4. 研修会主催者

(1) 各地区歯科医師会（当番県）、郡市区歯科医師会、日本歯科医学会、日本歯科医学会専門分科会、日本歯科医学会認定分科会、歯科大学・大学歯学部、歯科大学・大学歯学部同窓会（校友会）

機能概要	旧システム	新システム
研修会／演題	演題（セミナー）ひとつひとつを受講研修会として登録。	ひとつ以上の演題から構成される研修会として登録。
研修会の登録	審査は不要。 登録した研修会は即時有効となる。	審査が必要。登録した研修会は自動申請され、日本歯科医師会の審査員によって認定される必要あり。
研修会の履修データ登録	運用担当に履修データの登録を依頼。	研修会主催者自ら履修データを登録。

(2) 上記（1）以外の研修会主催者（認定申請が必要な研修会主催予定者）

機能概要	旧システム	新システム
認定主催者の申請	都道府県規模の研修会主催予定者は都道府県歯科医師会に書面等で申請し、都道府県歯科医師会の審査によって認定される必要あり。	規模によらず、認定主催予定者はEシステムで申請し、日本歯科医師会の審査員によって認定される必要あり。
認定主催者の更新申請	主催者 ID の有効期限は最大 2 年間であり、継続する場合再度認定研修会として新規申請する必要あり。	主催者 ID の有効期限は変わらないものの、更新申請を行うことで ID をリセットされることなく有効期限を延長可能。
研修会／演題	演題（セミナー）一つ一つを受講研修会として登録し、短縮コードを発番。	一つ以上の演題から構成される研修会として登録。短縮コードは演題に対して発番。
研修会の登録	審査は不要。 登録した研修会は即時有効となる。	審査が必要。登録した研修会は自動申請され、日本歯科医師会の審査員によって認定される必要あり。